2011年度入学試験問題

文学部A方式Ⅰ日程・経営学部A方式Ⅰ日程・人間環境学部A方式

3　限　選択科目　(60分)

科　目	ページ	科　目	ページ	科　目	ページ
政治・経済	2～21	**日　本　史**	22～35	**世　界　史**	36～53
地　　理	54～67	**数　　学**	68～69		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで，問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. **数学**は志望学部・学科によって解答する問題が決まっている。問題に指示されている通りに解答すること。指定されていない問題を解答した場合，採点の対象としないので注意すること。なお，以下の注意事項も参照すること。
   - 解答を導く途中経過も書くこと。
   - 解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。
   - その他，解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
   - 定規，コンパス，電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については，以下の注意事項を読みなさい。

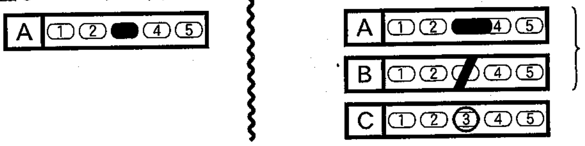
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では，鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆，ボールペン，シャープペンシルなどを使用しないこと)。

記入上の注意

1. 記入例　　　解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例　　(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は，消しゴムでよく消してから，あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり，折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(日　本　史)

〔Ⅰ〕 つぎの文章を読んで，下記の問いに答えよ。

中国では三国時代の後に晋が統一王朝を形成したが，4世紀初頭には諸民族の侵入を受けて南に移り，やがて南北朝時代をむかえることとなった。そのため周辺諸地域の独立の気運が高まり，東アジアの各地で国家形成が進んでいった。

朝鮮半島においては北部で［ 1 ］が勢力を伸ばし，南部においては小国連合のなかから［ 2 ］，［ 3 ］があいついでおこった。4世紀後半から［ 1 ］が南下政策を進めると半島情勢は緊迫し，［ 4 ］諸国と関係を結んで朝鮮半島南部から鉄資源を入手していたヤマト政権も［ 1 ］と対立することとなった。5世紀に入ると，半島における立場を有利なものにしようとして，(1)倭の五王があいついで中国の南朝に朝貢したことが『宋書』倭国伝に記されている。

5世紀後半から6世紀にかけては，関東地方から九州地方におよぶ広い範囲でヤマト政権による豪族支配の体制がつくられていった。こうした体制には地方の抵抗もあり，九州では筑紫国造磐井が［ 3 ］と結んで反乱を起こしたが，大王軍は2年をかけてこれを制圧し，北部九州に直轄地である［ あ ］を設置した。このころからヤマト政権と地方豪族との関係は変化し，(2)地方豪族はヤマト政権への奉仕者としての性格を強めていったのである。

6世紀にはいると，［ 2 ］や［ 3 ］は［ 4 ］の諸小国に勢力を伸ばしたため，ヤマト政権は朝鮮半島からの後退を余儀なくされていった。この時期に政治を指導していた大伴氏が半島での失策を理由に退けられると，物部氏と蘇我氏が勢力を伸ばし，両者は対立するようになった。いっぽう，中国で隋が南北朝を統一して周辺地域に進出しはじめると，東アジア情勢は緊迫の度合いを増していった。ヤマト政権内部では蘇我馬子が物部守屋を滅ぼし，さらに［ a ］天皇を暗殺して実権を握ると，［ b ］天皇が即位して馬子や厩戸王らの協力体制が成立し，(3)国際的な緊張関係のもとで国家組織の形成を進めるこ

ととなった。隋が滅んだ後に唐がおこると，倭は630年から遣唐使を派遣して，引き続き制度・思想・文化の摂取につとめていった。

強大化した唐は周辺地域への侵攻を始め，朝鮮半島での戦乱が続くなかで，倭の内部ではそれに対応できる強力な体制の構築が進み，王権の強化が急がれた。7世紀中葉に蘇我氏は厩戸王の子の山背大兄王を滅ぼして権力の集中を図ったが，中大兄皇子や中臣鎌足らによって蘇我蝦夷・入鹿が滅ぼされた。このとき即位した［ c ］天皇のもとで中大兄皇子が皇太子となり，阿倍内麻呂が左大臣，蘇我倉山田石川麻呂が右大臣，鎌足が内臣，中国の事情に明るい旻と高向玄理が国博士となって数々の改革を進めていった。これを大化改新(4)と呼んでいる。

7世紀後半には唐と［ 3 ］が連合し［ 2 ］・［ 1 ］を相次いで滅ぼした。倭は［ 2 ］復興を支援するために大軍を派遣したものの，663年に白村江で唐・［ 3 ］連合軍に大敗した。中大兄皇子はそれを受けて国防の強化に努め(5)，後に近江大津宮に都を移し，［ d ］天皇として即位して内政の充実にも力をそそいだ。

［ d ］天皇の没後には，大友皇子と大海人皇子との間に皇位継承をめぐる戦乱が起きた(6)が，それを制した大海人皇子は［ e ］天皇として即位した。［ e ］天皇のあとを継いだ皇后の［ f ］天皇は，諸制度の整備を行うとともに遷都事業を進めていくこととなったのである。

問1　空欄［ 1 ］～［ 4 ］に入るもっとも適切な語を以下のア～クのなかからそれぞれ一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　加　耶　　イ　高句麗　　ウ　弁　韓　　エ　新　羅
オ　百　済　　カ　馬　韓　　キ　燕　　ク　辰　韓

問2　空欄［ a ］～［ f ］に入るもっとも適切な天皇の名を以下のア～ツのなかからそれぞれ一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　孝　徳　　イ　桓　武　　ウ　皇　極　　エ　文　武　　オ　崇　峻
カ　用　明　　キ　持　統　　ク　光　仁　　ケ　元　明　　コ　元　正
サ　継　体　　シ　舒　明　　ス　天　智　　セ　斉　明　　ソ　推　古
タ　孝　謙　　チ　天　武　　ツ　欽　明

問 3　空欄 あ にあてはまる用語を解答欄に記せ(漢字 2 文字)。

問 4　下線部(1)について，以下のア～エの記述のうち**誤っている**ものを一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　倭の五王のうち讃に対しては応神天皇・仁徳天皇・履中天皇をあてる諸説がある。

イ　倭の五王のうち武は雄略天皇に比定されている。

ウ　倭王武の要請を受けて宋は 480 年に朝鮮半島に出兵したが，積極的な軍事行動はとらなかった。

エ　倭の五王による一連の外交活動の後，中国の正史からは約 1 世紀にわたって倭の記述が途絶えている。

問 5　下線部(2)について，当時のヤマト政権と地方豪族との関係を示す以下のア～エの記述のうち**誤っている**ものを一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　地方豪族は国造に任じられて，その地方の支配を保証された。

イ　地方豪族はその子女を衛士や采女として出仕させた。

ウ　地方豪族はその地方の特産物を貢進した。

エ　地方豪族は軍事行動への参加を求められた。

問 6　下線部(3)について，以下のア～エの記述のうち**誤っている**ものを一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　603 年に定められた冠位十二階は，それぞれの氏族集団に明確な官位を与えることで国家組織の一員としての責任感を植え付ける意図があった。

イ　604 年に定められた憲法十七条は豪族たちに官僚としての自覚を求めるとともに，仏教を新しい政治理念として提示したものであった。

ウ　この時期には遣隋使を派遣したが，隋の煬帝は，倭からの国書が皇帝に臣属する形式をとらなかったため，不快の意を示した。

エ　遣隋使として派遣された小野妹子は答礼使の裴世清を伴って帰国し，裴世清の帰国に際しては，学問僧らとともに再び隋に渡った。

問 7　下線部(4)について，以下のア～エの記述のうち「改新の詔」の内容として**誤っている**ものを一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　田荘や部曲を廃止して，公地公民制をめざした。

イ　都をつくり，地方の行政・軍事・交通に関する諸制度を定めることとした。

ウ　戸籍・計帳をつくり，新たに均田法を制定することとした。

エ　以前からの賦役をやめ，各種の調などの新たな税制をつくることとした。

問 8　下線部(5)について，以下のア～エのうち倭が白村江の戦いで敗れた後に国防のために設置した施設として**誤っている**ものを一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　大野城　　イ　水　城　　ウ　基肄城　　エ　多賀城

問 9　下線部(6)の戦乱とその後の経過について，以下のア～エの記述のうち正しいものを一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　近江朝廷側の有力な中央豪族たちの多くは大海人皇子の側について戦った。

イ　大海人皇子は東国の勢力を軍事的に動員することに成功した。

ウ　大海人皇子は即位後に律令や国史の編纂に着手し，和同開珎の鋳造にも乗り出した。

エ　大海人皇子は即位後に飛鳥板蓋宮の造営を開始し，7 世紀中葉以来の諸改革を完成させようとしたが，志なかばで亡くなった。

〔Ⅱ〕 つぎの文章を読んで，下記の問いに答えよ。

1221 年，$\underset{a}{\underline{\text{承久の乱}}}$に勝利した幕府は，$\underset{b}{\underline{\text{後鳥羽上皇}}}$・土御門上皇・$\underset{c}{\underline{\text{順徳上皇}}}$らを流罪に処し，後鳥羽上皇の子孫を皇位継承から排除する一方，後鳥羽の兄の守貞親王(後高倉院)を太上天皇の地位にすえて，$\underset{d}{\underline{\text{守貞の子孫}}}$に皇位を継承させた。しかし，1242 年，守貞の血統はその孫の代で断絶したため，$\underset{e}{\underline{\text{幕府は再び後鳥羽の子孫から皇位継承者を選ぶことになり，土御門の子の後嵯峨天皇が即位した}}}$。

その 4 年後，後嵯峨は子の後深草天皇に譲位したが，その後，後深草から弟の亀山天皇に譲位させ，さらに亀山のあとは後宇多天皇(亀山の子)に皇位を継承させることを決めて，$\underset{f}{\underline{\text{1272 年}}}$，後嵯峨は死去した。父の死後，亀山は後宇多に譲位し，ここで，誰が後宇多の次の天皇になるのかという問題が生じた。幕府は後深草の子孫に皇位を継承させようとはかり，後宇多の次には伏見天皇(後深草の子)を即位させ，さらに伏見の次には後伏見天皇(伏見の子)を即位させた。

ところが，幕府は，後深草の子孫に皇位を継承させるというこの方針を貫徹しなかった。1298 年，幕府は一転して，亀山の子孫の皇位継承に賛同したのである。その結果，幕府は後伏見の次に後二条天皇(後宇多の子)の即位を認め，その後は，後二条の次に花園天皇(後伏見の弟)の即位を認め，事実上，後深草の子孫にも，亀山の子孫にも，皇位の継承を認める態度をとるようになった。これによって，二つの血統が対立して皇位継承を争う事態が生まれた。［　あ　］の血統は大覚寺統，［　い　］の血統は持明院統と呼ばれている。幕府はこの紛争を解決することができなくなり，混迷に陥った。

花園の次に即位したのが後醍醐天皇である。後醍醐は後宇多の次男であり，兄の後二条が嫡流であったが，後醍醐は自分の子孫に皇位を継承させることを強く望んだ。しかし，幕府は後二条の子孫の皇位継承を支持し，後醍醐の子孫については認めようとしなかったため，彼は幕府打倒の運動を起こすことになる。$\underset{g}{\underline{\text{1331 年，後醍醐は倒幕の挙兵をはかって敗れ，隠岐に流された}}}$。代わって後伏見の子の光厳天皇が即位し，皇太子には後二条の孫が立てられた。

ところが，ここで情況は一挙に変化する。後醍醐を支持する武士勢力が急激に拡大し，幕府は滅亡に追い込まれ，後醍醐は京都に帰還した。しかし，それは長続きしなかった。ほどなく彼は足利尊氏と対立するようになり，尊氏は光厳をかついで，その弟の光明天皇を即位させ，後醍醐に対抗した。後醍醐は劣勢になって尊氏と和睦し，光明に譲位するという形をとって太上天皇となったが，この和睦はすぐに破れ，後醍醐は京都を脱出して吉野に逃れた。彼はなおも在位を主張し，京都の天皇を否定しようとしたが，結局，京都に戻ることなく，1339年，吉野で死去した。その後，今にいたるまで長く皇位を継承してきたのは [う] の子孫である。

（下線部：h「後醍醐を支持する武士勢力が急激に拡大し，幕府は滅亡に追い込まれ」，i「足利尊氏」，j「1339年」）

問 1　下線部 a について，以下のア〜エのうち正しいものを一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　後鳥羽上皇が召集したのは非御家人の武士に限られ，御家人を味方につけることはまったくできなかった。

イ　土御門上皇と順徳上皇は後鳥羽上皇の子供であり，それぞれ四国と佐渡に流された。

ウ　幕府は戦いに勝利した恩賞として，すべての地頭に田地を給付した。

エ　幕府は将軍実朝を中心にして，御家人を結集して戦った。

問 2　下線部 b の後鳥羽上皇は，1183年，平家が京都を脱出して西方に逃げた直後に即位した。このとき平家と戦って平家を京都から追い出した武将を以下のア〜エのなかから一人選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　源義仲　　イ　源頼朝　　ウ　源頼政　　エ　源義経

問 3　下線部 c について，順徳上皇の著作を以下のア〜エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　愚管抄　　イ　歎異抄　　ウ　禁秘抄　　エ　梁塵秘抄

問 4　下線部dについて，守貞の子孫に該当する人物を以下のア～エのなかから一人選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　安徳天皇　　イ　仲恭天皇　　ウ　高倉天皇　　エ　後堀河天皇

問 5　下線部eについて，後嵯峨天皇の即位を決定した幕府の執権を以下のア～エのなかから一人選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　北条貞時　　イ　北条泰時　　ウ　北条時宗　　エ　北条義時

問 6　下線部fについて，1272年以前の事実を以下のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　永仁徳政令の発布　　イ　霜月騒動

ウ　蒙古襲来　　エ　宝治合戦

問 7　文中の空欄 あ と い にあてはまる人物の組み合わせとして正しいものを以下のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　あ……後深草天皇・伏見天皇　　い……亀山天皇・後宇多天皇

イ　あ……亀山天皇・伏見天皇　　い……後深草天皇・後宇多天皇

ウ　あ……亀山天皇・後宇多天皇　　い……後深草天皇・伏見天皇

エ　あ……後深草天皇・後宇多天皇　　い……亀山天皇・伏見天皇

問 8　下線部gについて，この事件の呼び名を以下のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　元弘の変　　イ　観応の擾乱　　ウ　正中の変　　エ　建武の乱

問 9　下線部hについて，後醍醐を支持する武士勢力には**該当しない**人物を以下のア～エのなかから一人選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　楠木正成　　イ　新田義貞　　ウ　長崎高資　　エ　足利直義

問10　下線部ｉについて，以下のア〜エのうち正しいものを一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　細川氏や斯波氏は尊氏の子供から分かれた一族である。

イ　尊氏と新田義貞・源頼朝の共通の祖先は源義家である。

ウ　尊氏は1333年，鎌倉を攻めて北条高時を自殺に追いこんだ。

エ　尊氏は室町幕府の基本法として『建武式目』を制定し，鎌倉幕府の『御成敗式目』を無効とした。

問11　下線部ｊについて，1339年以前の事実を以下のア〜エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　雑訴決断所が設置され，裁判が行われた。

イ　京都の室町に「花の御所」と呼ばれる邸宅が造られた。

ウ　世阿弥がはじめて猿楽を演じた。

エ　天竜寺船が中国に派遣された。

問12　空欄［　う　］にあてはまる人物を以下のア〜エのなかから一人選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　光明天皇　　イ　後二条天皇　　ウ　後醍醐天皇　　エ　光厳天皇

〔Ⅲ〕 つぎの文章を読んで，下記の問いに答えよ。

江戸時代には鎖国により，西洋の学術・知識の流入は限られていた。しかし，すでに17世紀末には，中国やアジア諸地域から西洋諸国におよぶ海外事情について記述した西川如見の［　①　］が刊行され，18世紀はじめには，将軍徳川家宣・家継に仕えた新井白石が，日本に潜入して捕えられたイタリア人宣教師を尋問して得た知識をもとに，［　②　］や『西洋紀聞』を著した。

その後，<u>将軍徳川吉宗</u>[a]が漢訳洋書の輸入制限を緩和し，儒者の青木昆陽や医師の野呂元丈にオランダ語を学ばせたりしたことなどから，蘭学が発達することとなった。蘭学がいち早くとり入れられたのは医学の分野である。青木昆陽にオランダ語を学んだ医師の前野良沢は，杉田玄白や桂川甫周らと協力して西洋の解剖書を翻訳し，1774年に『解体新書』を刊行した。その苦心は杉田の回想録である［　③　］に語られている。

この前野・杉田にオランダ語やオランダ医学を学んだ大槻玄沢は［　④　］を著し，大槻が江戸にひらいた［　あ　］に学んだ稲村三伯は蘭日辞書の『ハルマ和解』を刊行した。こうして蘭学興隆の基礎がつくられるとともに，桂川に学んだ宇田川玄随によって，西洋の医学書を翻訳した『西説内科撰要』が刊行された。また，桂川は，<u>大黒屋光太夫</u>[b]が将軍徳川家斉に謁見した場に同席し，光太夫からの聞き書をもとに［　⑤　］を著している。

蘭学はさまざまな学問にも活用された。長崎のオランダ通詞であった志筑忠雄は［　⑥　］を著し，ニュートンの万有引力説やコペルニクスの地動説を紹介した。一方，幕府の［　い　］の高橋至時と大坂の商人であった間重富は，西洋暦法をとりいれた［　う　］を完成した。高橋に学んだ伊能忠敬は全国の沿岸を測量し，『大日本沿海輿地全図』の作成に尽力し，また，高橋至時の子の景保は幕府に建議し，蘭書翻訳機関である<u>蛮書和解御用(掛)</u>[c]を設立させた。景保は国外持ち出し禁止の日本地図をシーボルトに渡した罪によって処罰され，獄死している。シーボルトの門人の一人に高野長英がいる。高野はのちに，［　え　］事件について幕府を批判して『戊戌夢物語』を書き，きびしい処罰を受けた。

問１　空欄 ① ～ ⑥ にあてはまる文献名を以下のア～ソのなかからそれぞれ一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　慎機論	イ　暦象新書	ウ　三国通覧図説
エ　北槎聞略	オ　采覧異言	カ　海国兵談
キ　蘭学階梯	ク　読史余論	ケ　蘭学事始
コ　西域物語	サ　西洋事情	シ　赤蝦夷風説考
ス　万国公法	セ　華夷通商考	ソ　文明論之概略

問２　下線部ａについて，将軍徳川吉宗の時代に関する説明として正しいものを以下のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　喜多川歌麿や東洲斎写楽が大首絵を描いた。

イ　河村瑞賢(瑞軒)によって東廻り海運，西廻り海運が整備された。

ウ　深刻な飢饉によって江戸では米価が急騰し，米問屋を襲う打ちこわしがおこった。

エ　田沼意次が老中になり，幕府財政の再建にとりくんだ。

問３　下線部ｂについて，大黒屋光太夫に関する説明として正しいものを以下のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　大黒屋光太夫はロシアに漂着したのち，ロシア使節ラクスマンに伴われて帰国した。

イ　大黒屋光太夫は日本がロシア人ゴローウニン(ゴローニン)を逮捕したことへの報復として，ロシア側に抑留された。

ウ　大黒屋光太夫は幕府の命を受けて，樺太や千島列島の調査を行った。

エ　大黒屋光太夫は幕府の使節としてロシアに派遣され，エカチェリーナ２世に謁見した。

問４　下線部ｃについて，蛮書和解御用(掛)と**つながりのない**ものを以下のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　開成所　　イ　慶応義塾　　ウ　東京大学　　エ　蕃書調所

問 5　空欄 [あ] にあてはまる語を以下のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　昌平坂学問所　　　イ　懐徳堂
ウ　適々斎塾　　　エ　芝蘭堂

問 6　空欄 [い] にあてはまる語を以下のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　外国奉行　　イ　長崎奉行　　ウ　天文方　　エ　大学頭

問 7　空欄 [う] にあてはまる語を以下のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　貞享暦　　イ　宝暦暦　　ウ　天保暦　　エ　寛政暦

問 8　空欄 [え] にあてはまる語を以下のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　モリソン号　　　イ　サン＝フェリペ号
ウ　フェートン号　　　エ　ノルマントン号

〔Ⅳ〕 つぎの文章を読んで，下記の問いに答えよ。

維新後の政府にとって財政基盤の確立が課題となった。政府は，財政負担を軽減するため秩禄処分(a)を実施する一方で，歳入の安定化をめざして地租改正(A)を行った。

政府は近代産業を育成するうえで，社会基盤の整備をはかり，1871年には［ 1 ］の建議により，官営の郵便制度が発足した。海運では［ 2 ］が経営する三菱に手厚い保護をあたえた。

また，政府は，［ あ ］造船所や［ い ］金山，［ う ］炭鉱(坑)など，かつて旧幕府・諸藩が経営していた造船所・鉱山(炭鉱)を接収して直接経営を行うほか，軍工廠として東京と［ え ］に砲兵工廠を開いた。このほか，官営模範工場として富岡製糸場(b)を設けた。

政府は，北方の開発をすすめるため，屯田兵の制度を設け，農兵として北海道開拓と［ 3 ］に対する警備にあたらせた。また，1876年には，アメリカ式の大農場制度の移植をはかるため，［ 4 ］を招いて札幌農学校を開設した。

貨幣制度・金融制度の確立に向けて，政府は，1868年，貨幣司を設置し(翌年これを廃して，造幣局を新設。後に造幣寮と改称)，1871年には［ え ］で貨幣鋳造工場を開業するとともに，新貨条例を定め，円・銭・厘を単位とする十進法を採用した。翌1872年には，国立銀行条例(c)を制定した。

問 1 下線部a「秩禄処分」に関する説明として，誤っているものを以下のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア 政府は，華族・士族に家禄をあたえ，維新期の功労者に賞典禄をあたえていた。

イ 秩禄の支出は，国家の総支出の約6割を占め，政府にとって大きな負担となっていた。

ウ 1873年，秩禄奉還の法を定め，奉還希望者に，秩禄公債の交付と現金の支給を行った。

エ 1876年，すべての秩禄受給者に5～14年分の額の金禄公債証書をあたえ，秩禄を全廃した。

問 2　文中の空欄 [1] [2] に入るもっとも適切な人物を以下のア～カのなかからそれぞれ一人選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　岩崎弥太郎　　イ　五代友厚　　ウ　前島密　　エ　岩倉具視

オ　中村正直　　カ　寺島宗則

問 3　文中の空欄 [あ] ～ [え] に入るもっとも適切な地名を以下のア～クのなかからそれぞれ一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　大　阪　　イ　京　都　　ウ　佐　渡　　エ　生　野

オ　長　崎　　カ　三　池　　キ　品　川　　ク　堺

問 4　下線部 b「富岡製糸場」に関する説明として，正しいものを以下のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　横田(和田)英は富岡製糸場での体験をもとに『富岡日記』を記した。

イ　1872 年に群馬県富岡に開設された紡績の官営模範工場である。

ウ　女工として集められたのは主として小作農の子女であった。

エ　イギリス人技師ブリューナの指導のもと先進技術の導入がはかられた。

問 5　文中の空欄 [3] に入るもっとも適切な国名を以下のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　ロシア　　イ　清　国　　ウ　朝　鮮　　エ　韓　国

問 6　文中の空欄 [4] に入るもっとも適切な人物を以下のア～エのなかから一人選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　ボアソナード　　イ　コンドル

ウ　ジェーンズ　　エ　クラーク

問 7　下線部c「国立銀行条例」に関する説明として，誤っているものを以下のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア　アメリカの制度を模範とし，渋沢栄一らが中心となって制定した。

イ　制定時は，国立銀行に発行銀行券の正貨兌換を義務づけていた。

ウ　1883 年の改正(正貨兌換の撤廃)までに設立された国立銀行は 4 行のみであった。

エ　国立銀行条例に基づき最後に設立された銀行は，第百五十三国立銀行であった。

問 8　下線部A「地租改正」について，以下の四つの語句をすべて使用して 80 字以内で説明せよ。使用した語句には下線を引くこと。句読点も 1 字に数える。算用数字は 1 マスに 2 字記入してもよい。

地租改正条例　　物納　　税率　　地券所有者

下書き用(横書き，20 字 × 4 行 = 80 字)→